

令和2年度・夏

自作教材教具集



瀬谷養護学校
教育支援チーム

目次

太田のステージをもとに★の数で難易度を表しています。

1 操作の学習

★		
プットイン (ストロー)	…P4	
プットイン (ペットボトルキャップ) P5		
引っ張る	…P6	
回転式スタンプ	…P7	
ひも通し (電車)	…P8	
積み木の穴通し	…P9	
★★		
ボタン付け・色のマッチング	…P10	
ピックさし	…P11	
輪ゴムかけ	…P12	
はさんで移そう	…P13	
つまんで移そう	…P14	
バックルの留め外し	…P15	
スナップボタン	…P16	
★★★		
バックルの練習	…P17	
ひも通し (ひよこ)	…P18	
みつあみの練習	…P19	
スツと3ツ折り (A4判)	…P20	
タングラムパズル	…P21	
ゴムくくり	…P22	

2 認知

★★		
マッチング (標識・記号)	…P23	
整理整頓してみよう	…P24	
積み上げブロック	…P25	
★★★		
日課ピクトと文字のマッチング	…P26	
文字マッチング	…P27	
キーを押して、自分の名前 の音をしゃべらせてみよう	…P28	
★★★★		
1～10の数量	…P29	
2桁の数	…P30	
3桁の数	…P31	
4桁の数	…P32	
10になる足し算	…P33	
時計ガイド	…P34	
硬貨マッチング	…P35	
お金数え台	…P36	
小銭がまざらない財布	…P37	
文作り	…P38	

目次

3 コミュニケーション

★

ペープサート（食いしん坊なゴリラ） …P39

手袋シアター（ゆび忍者） …P40

「〇〇先生、」とボタンを押して呼ぶ …P41

ためのVOCA

4 授業

くす玉 …P42

バスの乗り方 …P43

模擬歩行者信号セット …P44

テーブルホッケー …P45

ばい菌がついた大きな手 …P46

5 その他

鉛筆の補助具 …P47

傾斜台 …P48

★は、太田のStage I 相当です。

★★は、太田のStage II 相当です。

★★★は、太田のStage III - 1 相当です。

★★★★は、太田のStage III - 2 相当です。

★★★★★は、太田のStage IV 相当です。

教材教員名	プットイン (ストロー)	分類	操作 ★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 手指の巧緻性を高める。 • 手元を注視する力を伸ばす。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- ストローを一本ずつ入れていく。

<材料>

- ストロー (プラスチックストロー)、容器

<工夫点>

- 普通のストローでは、力加減が難しかったため、硬いプラスチックストローを使った。

<使ってみてよかったところ、効果>

- 力加減が難しい児童でも、一人でプットインすることができた。

教材教具名	プットイン (ペットボトルキャップ)	分類	操作 ★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 手指の巧緻性を高める。 • 穴をよく見るなど、注視力を高める。 		

教材教具の概要



<使用方法>

• 穴をよく見て一つずつプットインをする。数字を見て、順番通りに入れたり、マジックテープでつなげたり、外したりもできる。

<材料>

• 容器、ペットボトルキャップ、ビー玉、フェルト、マジックテープ、裁縫道具

<工夫点>

• ただのプットインとしても使えるが、数字の要素を入れたり、マジックテープを付け、工程を増やしたりなどと、実態応じて使用できるものにした。

<使ってみてよかったところ、効果>

• プットインだけでなく、数字を並べたり、マジックテープでつなげたりといろいろな方法を自分で考えながら使っていた。

教材教員名	引っ張る	分類	操作 ★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 手指の巧緻性を高める。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- ペットボトルをおさえながら、中のものを引っ張り出す。

<材料>

- フェルト、綿、ひも、ペットボトル、裁縫道具

<工夫点>

- 綿をきつめに入れ、引き抜くとポンッと音が鳴るようにした。

<使ってみてよかったところ、効果>

- 多少力が必要なので、はじめは難しそうだったが、慣れてくるとペットボトルをおさえて、引き出すことができるようになった。

教材教員名	回転式スタンプ	分類	操作 ★
		授業名	作業班：紙工（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・上から押さえる動作だけでスタンプをきれいに押すことができる。 ・手指の細かな動作で濃淡を調整することなく、スタンプが押せる。 ・途中でインクを使用することなく、連続してスタンプを押すことができる。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・紙を下に敷き、上から押さえる

<材料>

- ・回転式スタンプ（済）
- ・代わりに張り付けるデザイン性のあるスタンプ

<工夫点>

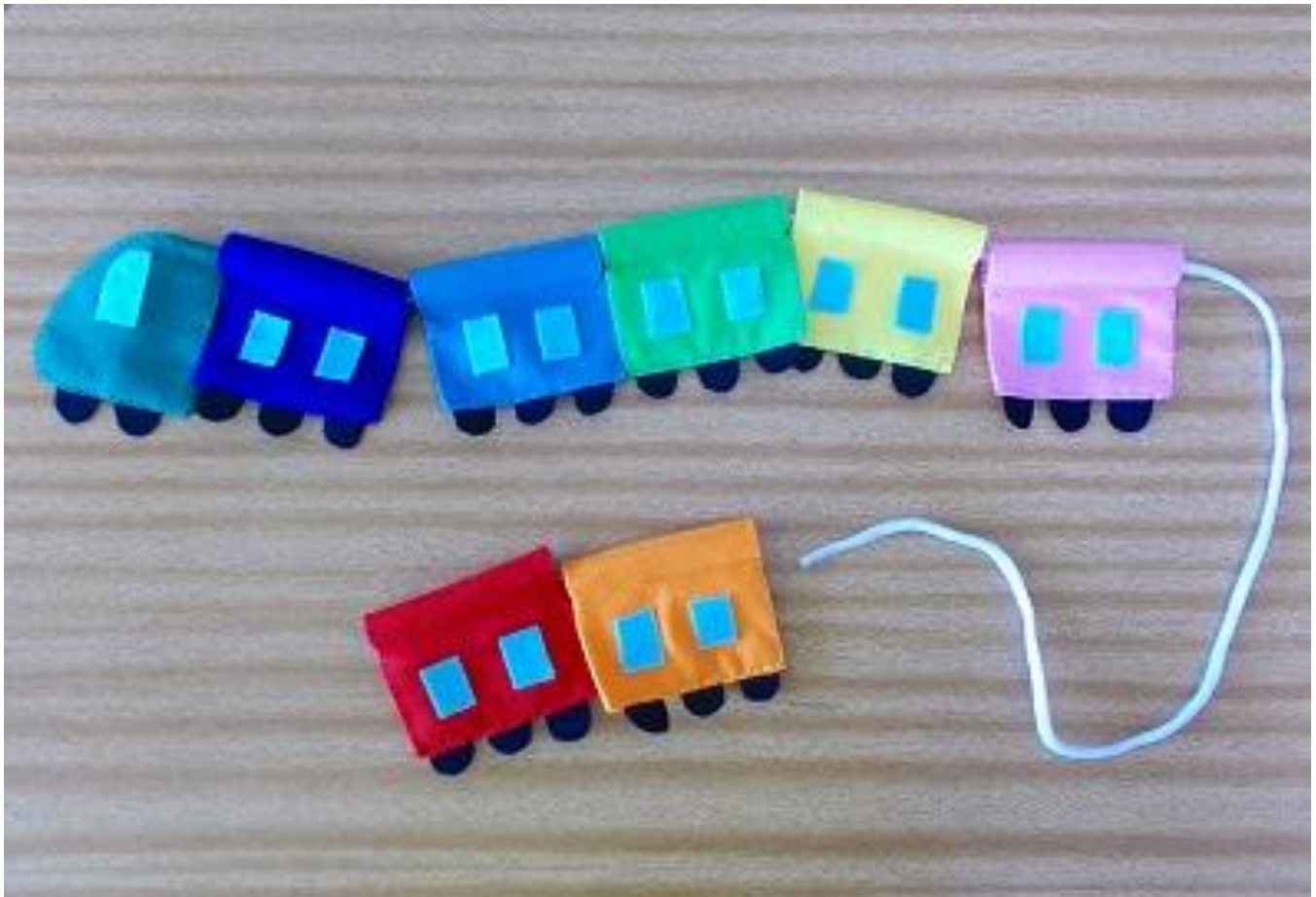
- ・市販の事務用回転式スタンプのゴム印の部分のみ変えることで簡単に製作可能

<使ってみてよかったところ、効果>

- ・通常のスタンプではインクのつけすぎ等で製品として不備なものがでてしまっていたが、回転式スタンプを使うことで濃淡を気にせず作業を行うことができた。
- ・手指の細かな調整を必要としないので、取り組むのが難しかったスタンプ押し作業に取り組めるようになった。

教材教員名	ひも通し(電車)	分類	操作 ★
		授業名	個別課題学習(小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 手指の緻巧性を高める。 • 集中力を保ちながら最後まで活動する。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- 一つずつひもを通し、電車をつなげる。

<材料>

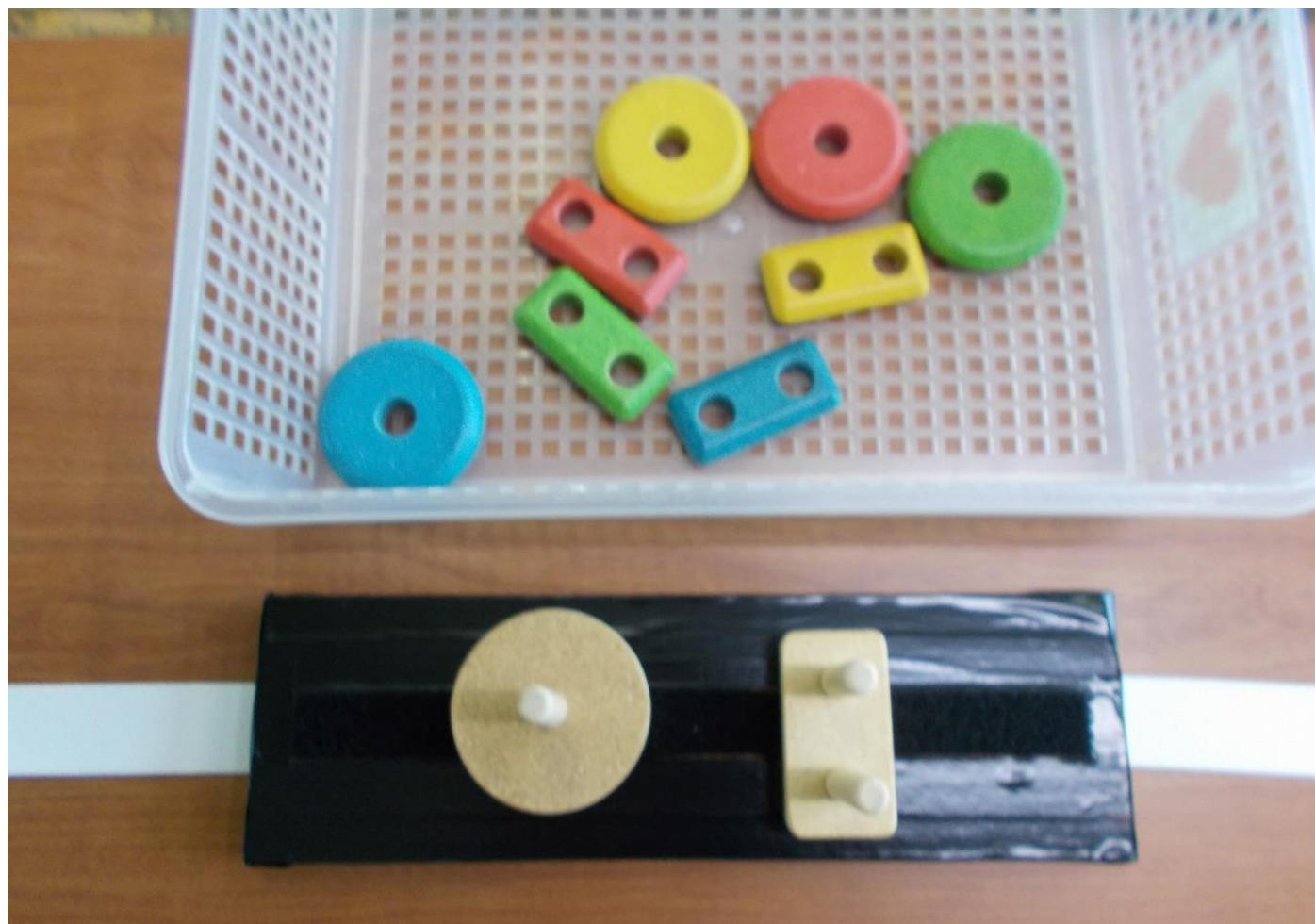
- フェルト、ひも、チューブ、セロハンテープ、グルーガン

<工夫点>

- 裁縫が苦手な方はグルーガンがあれば、できます!!!

教材教具名	積み木の穴通し	分類	操作 ★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 手先の巧緻性を高める。 • 形の違いに注目して分けることができる。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- ①学習机に土台を貼り付けたゴムベルトを固定する。
- ②積み木をひとつずつ手渡し、穴を通しながら重ねる。
- ③はじめは1種類の形から取り組み、徐々に種類を増やす。

<材料>

- 積み木玩具 (既製品)、ゴムひも、マジックテープ

<工夫点>

- 土台を用意し固定できるようにした。
- レベルアップ (徐々に種類を増やすこと) もできる工夫をした。

<使ってみてよかったところ、効果>

- 土台、積み木共に注視するようになった。

教材教員名	ボタン付け・色のマッキング	分類	操作 ★★★
		授業名	個別課題 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 手指の巧緻性を高める。 • 色のマッキングができる。 • 日常生活に生かす。 		

教材教具の概要



<使用方法>

ボタンと同じ色の場所に、リボンをつける。

<材料>

- フェルト、ボタン、板目紙

<工夫点>

- 扱いやすいように、フェルトに厚紙をつけた。

教材教員名	ピックさし	分類	操作 ★★★
		授業名	国語・数学・自立活動（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 手指の巧緻性を高める。 • 集中力を養う。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- ① ピックを同じ色ごとにさしていく。
- ② ピックを抜く。

<材料>

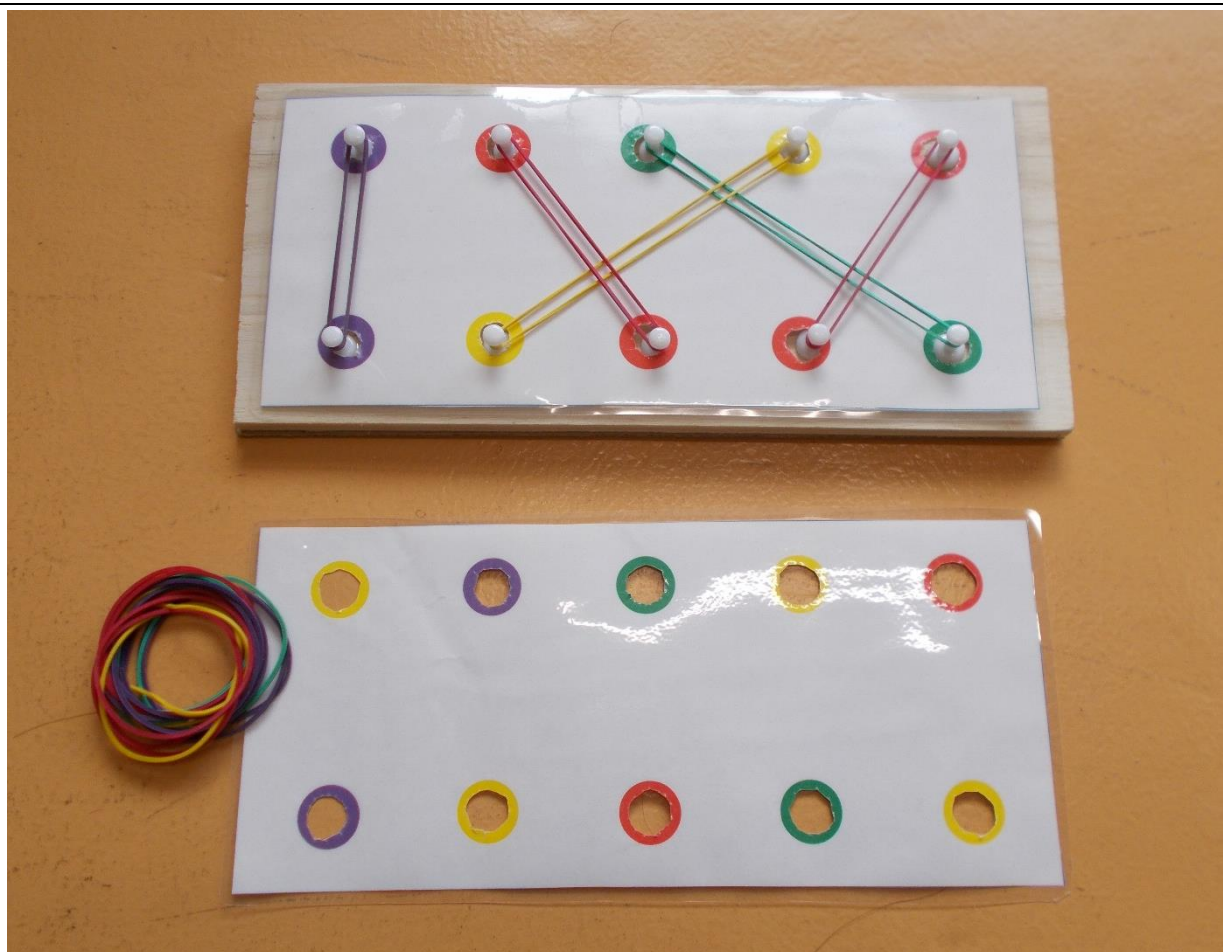
- タッパー、シール、お弁当用のピック、キリ（穴を開け用）

<工夫点>

- ピックは、持ち手部分が平たく持ちやすく、また、先端は引っかかるようになっているので、さしたり抜いたりしづらいため、指先に力を入れて取り組む練習になる。

教材教員名	輪ゴムかけ	分類	操作 ★★★
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 手指の巧緻性を高める。 • 色を見て、色分けをする力を高める。 • 形に対する意識や形を作ることへの意欲を高める。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- 本体とラミネートされたシート、輪ゴムを提示する。シートを交換しながら色マッチングの要素で輪ゴムをかけていく。

<材料>

- 木板・画鋸・ラミネートフィルム・カラー輪ゴム

<工夫点>

- シートや輪ゴムを複数用意した点。

<使ってみてよかったところ、効果>

- 課題内容を理解し方法が定着した後は、シートや輪ゴムを自身で取り外し、課題を行うことができた。

教材教具名	はさんで移そう	分類	操作 ★★★
		授業名	個別課題 (課題別学習)
ねらい	① 道具の操作に慣れる。 ② 目と手の協応。		

教材教具の概要



<使用方法>

- トングを使って、はさんで移す。

<材料>

- トング、100均などの消しゴム

<工夫点>

子どもの興味のある食べ物の消しゴムを用意した。

教材教員名	つまんで移そう	分類	操作 ★★★
		授業名	個別課題 (課題別学習)
ねらい	①道具の操作に慣れる ②目と手の協応		

教材教具の概要



<使用方法>

- ピンセットでつまんで穴に入れる。

<材料>

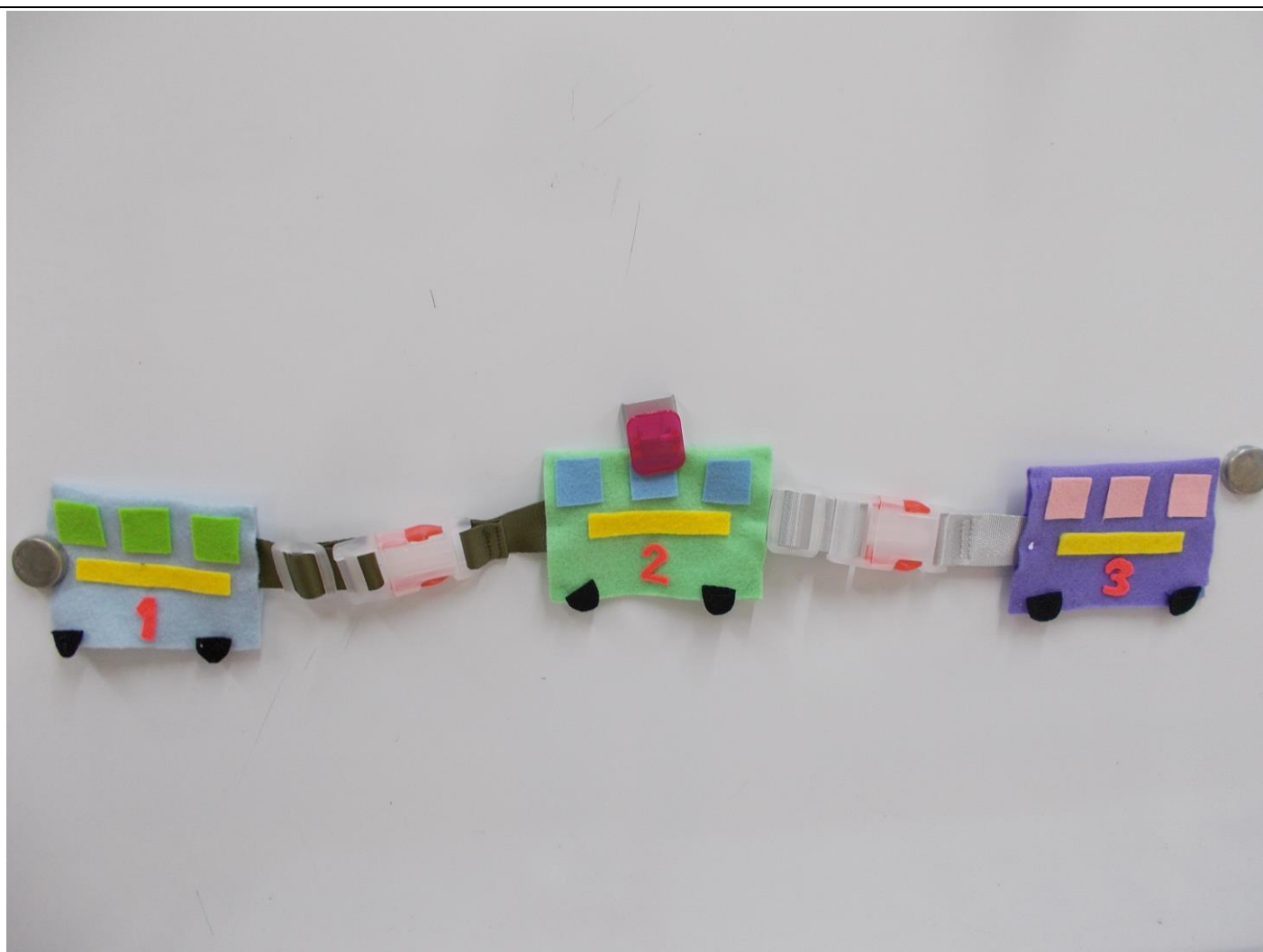
- 100均で『4目並べ』といった名前で売っているもの、ピンセット

<工夫点>

- 安価で用意できるものを探した。

教材教員名	バックルの留め外し	分類	操作 ★★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 手指の巧緻性 		

教材教具の概要



<使用方法>

- バックルを留めたり外したりする。
- はじめは、バックルを留める学習から行う。

<材料>

- フェルト、バックル

<工夫点>

- バックルのつまむ位置がわかるように色をつけた。

<使ってみてよかったところ、効果>

- 赤い場所をつまむことがわかり自分からバックルを外すことができてきた。

教材教具名	スナップボタン	分類	操作 ★★★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 手指の巧緻性を高める。 • つなげ方などを自分で考えてつなげることができる。 		

教材教具の概要



<使用方法>

• スナップボタンを留めて自由につなげる。見本を用意して（写真などで）その通りにつなげて
もよい。

<材料>

• モール、フェルト、スナップボタン、裁縫道具

<工夫点>

• 適度な硬さになるように、中にモールを入れてある。

教材教具名	バックルの練習	分類	操作 ★★★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 手指の巧緻性を高める。 • バックルの留め外しができるようになる。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- バックルを留めたり、外したりする。

<材料>

- バックル、フェルト、裁縫道具

<工夫点>

- 数字の順番に留めるといこともねらせるように、数字を付けた。

教材教員名	ひも通し (ひよこ)	分類	操作 ★★★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 手指の緻巧性を高める • 集中力を保ちながら最後まで活動する 		

教材教具の概要



<使用方法>

- 太いストローの大きさの穴にひもを通していく。

<材料>

- ひも、フェルト、綿、セロテープ、ストロー (タピオカ用)、裁縫道具

<工夫点>

- ひもの先にセロテープを巻き、硬くしている。

教材教員名	みつあみの練習	分類	操作 ★★★
		授業名	個別課題学習
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> •みつあみの練習を段階的に行う。 		

教材教具の概要



<使用方法>

① 3本の紐の色が異なる教材。
教員の手本を見ながら一緒に行い、できたらクリップで留める。

② 3本同色の教材。
みつあみを作り、できたらクリップで留める。

③ 女の子の髪に見立てた教材。
紐のふさを三つに分け、みつあみをし、クリップで留める。

<材料>

- ブラックボード、結束バンド、紐、プラスチックスプーン、ヘアクリップ

<工夫点>

• ③は女の子の髪に見立てることにより、楽しさや実際の髪でみつあみをすることにつながるようにした。

教材教具名	スツと3ツ折り (A4判)	分類	操作 ★★★
		授業名	国語・数学 (中学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 手指の巧緻性の向上。 • 丁寧に四隅を合わせることを意識する。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- ①決められた線 (位置) に合わせて、A4判用紙をセットする。
 - ②左右にある色シールと中央部にある色シールを合わせる。
 - ③手前が折ってから、用紙を手前に引く。
 - ④最後に四隅を揃えて折ると3ツ折りが完成する。
- ※④で折る向きを変えることで、巻き3ツ折りと外3ツ折りを作り分けることができる。

<材料>

- クリアファイル、厚紙、マスキングテープ、色シール、ビニールテープ、両面テープ

<工夫点>

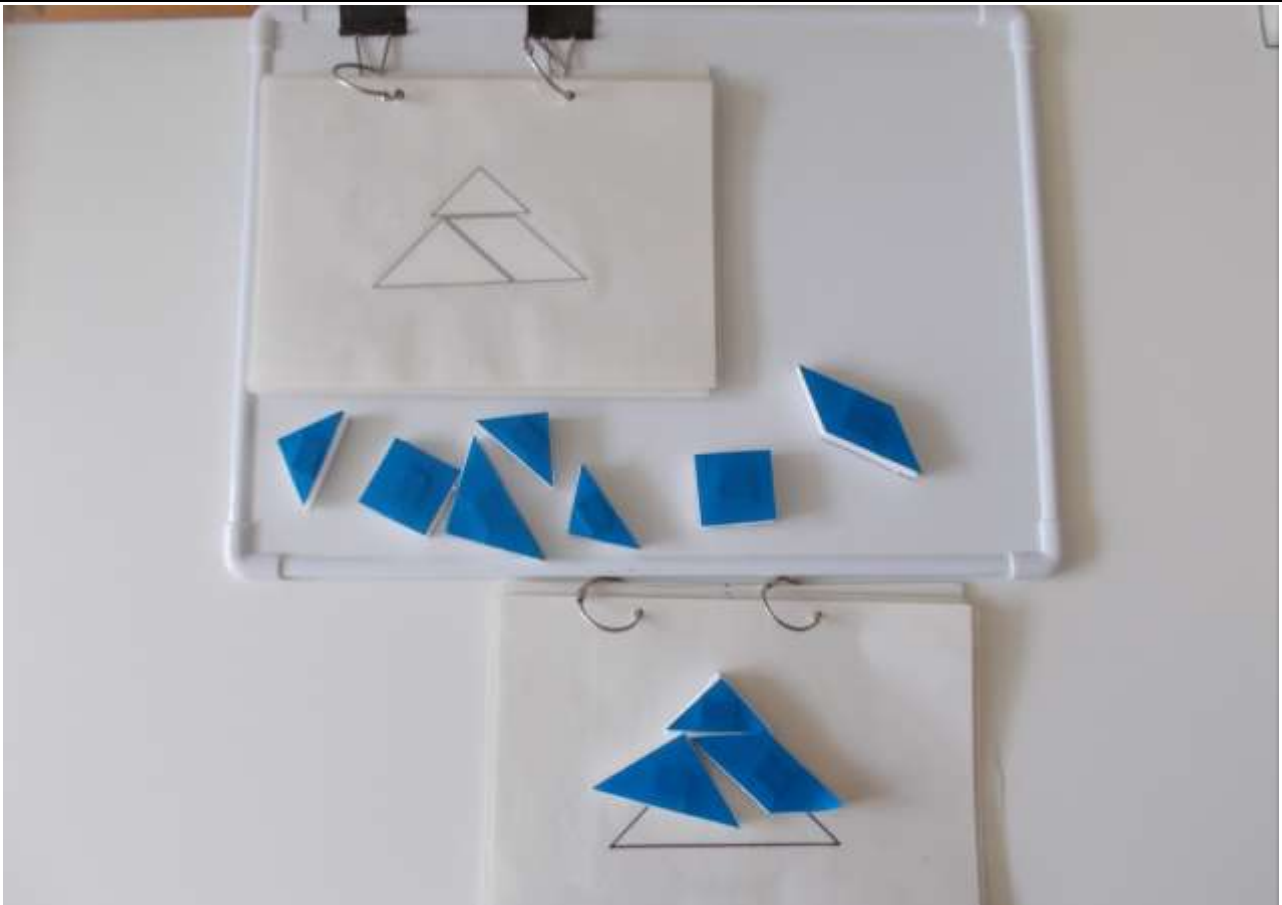
- 3ツ折りは、はじめの折り幅が重要になってくるため、用紙をセットして1回折ることで、安定した折り幅ができるようにした。
- 用紙をセットする位置が分かるよう線を引き、色シールを目印に2ツ折りすることが分かりやすくした。
- なるべく簡単な工程で、一定の折りのクオリティーを保てるように調整した。
- クリアファイルと厚紙のサイズを変更することにより、いろいろな用紙規格に合わせることができるようになった。

<使ってみてよかったところ、効果>

- 一番難しいはじめの折り幅が安定するため、完成品のサイズが安定した。
- 正確に用紙をセットする、最後に四隅を合わせるなど意識するポイントを少なくすることで、より正確性を意識できた。
- 生徒の実態に合わせて、手順書や手本を見せることなどを使い分けることができた。
- 作業に慣れてくるとひとりで進めることができるようになった。

教材教員名	タングラムパズル	分類	操作 ★★★
		授業名	個別課題学習
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 見本と同じ形を再現することで、眼で見た形を正しく認識する力を養う。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- ピースを動かして、見本と同じ形を作る。

<材料>

- ホワイトボード、シール折り紙、マグネット、スチレンボード、ラミネート用紙、ダブルクリップ、リング

<工夫点>

- スチレンボードを使って厚みをつけたピースを作ること、動かしやすいようにした。
- 図形の内側の線なしの見本を作ることで、段階的に学習が進むようにした。

教材教具名	ゴムくくり	分類	操作 ★★★
		授業名	個別課題学習
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 棒の束を作り、ゴムでくくる。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- 同じ色の棒を 10 個束にする
- ゴムでくくる
- 同色の箱に入れる

<材料>

- カラー棒、輪ゴム、箱、画用紙

<工夫点>

- 正しく同じ色の棒を 10 本くくると、箱にきれいに収まるようにした。

教材教員名	マッチング (標識、記号)	分類	認知 ★★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	・マッチングすることができる。		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・イラストを見てマッチングする。

<材料>

- ・イラスト、アクリル板、テープ、マジックテープ、貼りパネル

<工夫点>

- ・合わせるものを透明にしたことで、間違いを分かりやすくした。
- ・実態に合わせて数を減らしたり、はめ込みタイプを用意した。

教材教員名	整理整頓してみよう	分類	認知 ★★
		授業名	家庭（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 身の回りにあるものの整理整頓の仕方を知る。 • 整理整頓を実際に体験する。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- 仕切りに沿って、文房具を整理する。（写真カードは生徒の実態によって使用）

<材料>

- 紙皿、写真カード、文房具

<工夫点>

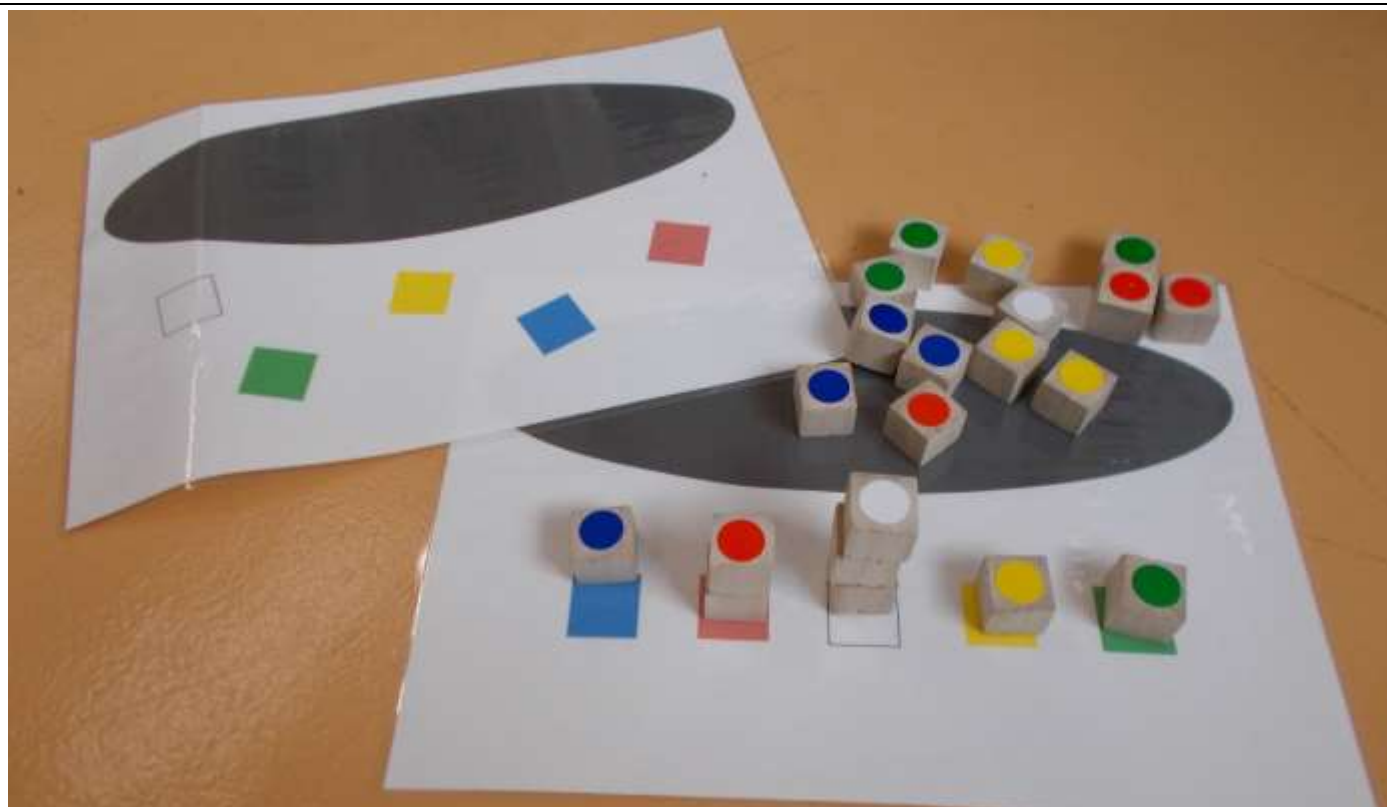
- 写真カードを取り外し可能にすることで、生徒の実態に応じた学習ができるようにした。（できる生徒は仕切りのみで、難しい生徒は写真カードをヒントに、整理整頓を体験する。）

<使ってみてよかったところ、効果>

- 仕切りの大きさが様々だったことで、自分で文房具の大きさと仕切りのスペースを意識しながら整理する生徒の様子が見られた。

教材教員名	積み上げブロック	分類	認知 ★★
		授業名	個別課題学習 (中学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 一定時間手元を見て、集中して取り組む。 ブロックが崩れないようにするにはどうしたらよいか、自分で工夫しながら取り組む。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・台紙を敷く。台紙は2種類 (レベル1 : 口が横一列に配置、レベル2 : 口がランダムに配置)
- ・ブロックを楕円の中にすべて出す。色ごとに口の位置にブロックを積み上げていく。
- ・すべて積みあがったら教員に報告し、つづいてレベル2を同様に取り組む。

<材料>

- ・台紙、ラミネート、100均の木材を正方形にカット、丸シール

<工夫点>

- ・イラスト等は入れず、シンプルな作りにしたこと)

<使ってみてよかったところ、効果>

- ・一定時間手元を見て取り組めるように、この教材を作った。適当にやるとブロックが崩れてしまうので、向きをそろえたり、下の部分を支えたりと本人なりに工夫して取り組んでいる様子があった。ゲーム感覚で取り組めるので、何度も取り組み、期待以上の効果があった。ブロックに使った材質が軽い木材で、触った感触やぶつかり合う音も良かった。

教材教具名	日課ピクトと 文字のマッチング	分類	認知 ★★★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • ピクトと文字のマッチングができる。 • 文字のかたまりを読むことができる。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- 複数の選択肢の中から、ピクトに合う日課の文字を選ぶ。
- できるようになったら、一文字ずつ正しく並べる。

<材料>

- ファイル、ラミネートフィルム、マジックテープ

<工夫点>

- 児童が好んで見ている日課を使用した。

<使ってみてよかったところ、効果>

- 児童の興味のあるものを使っているため、集中して一人で取り組めた。
- 一文字ずつ並べたあとに、かたまりの方を見返して正誤の確認ができた。

教材教具名	文字マッチング	分類	認知 ★★★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 電車や駅が好きな児童が楽しみながら文字のマッチングを行う。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- 見本を見ながら文字のマッチングを行う。

<材料>

- ラミネート、マジックテープ

<工夫点>

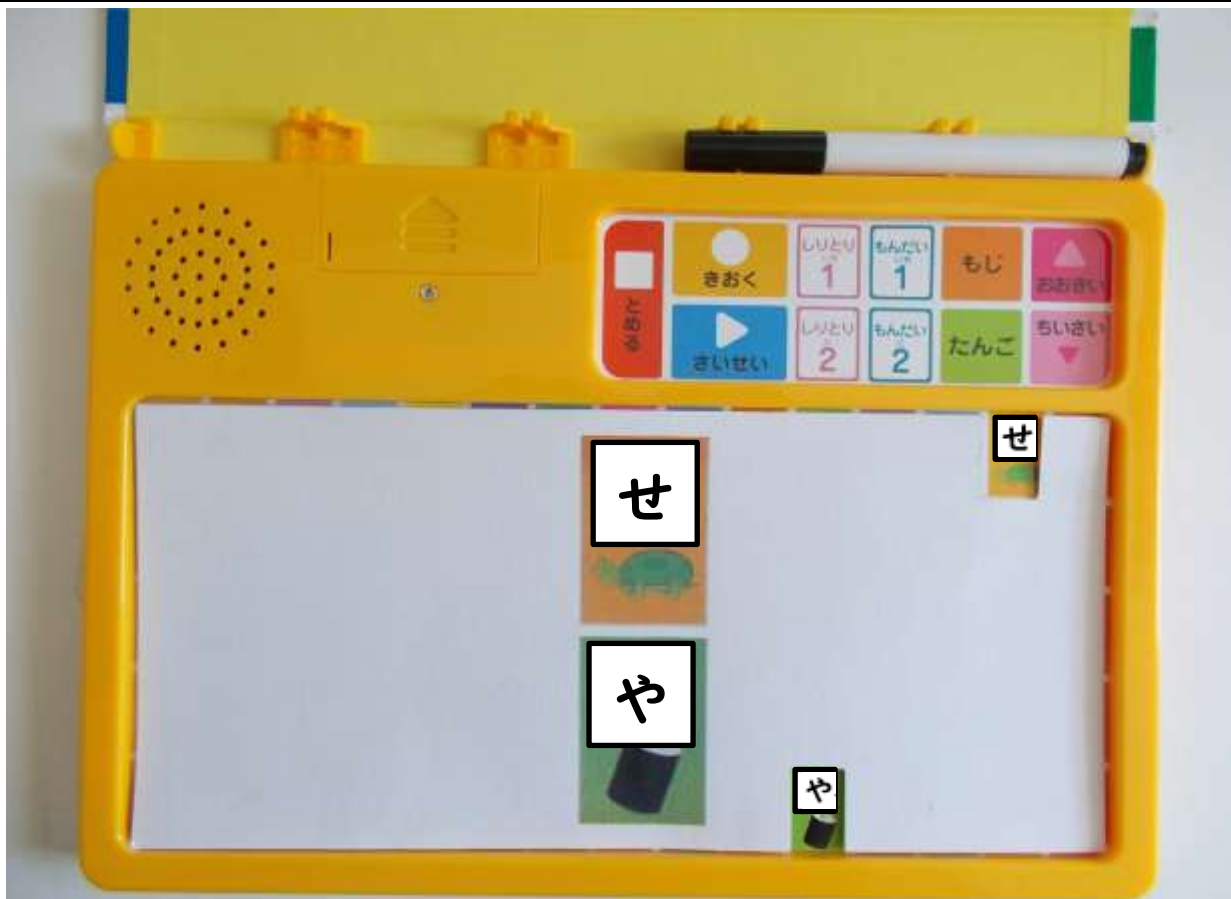
- 電車や駅が好きな児童が楽しめるように、本物の看板をなるべく忠実に再現した。
- 児童の身近な駅名を使用した。
- 情報量が多いため、見本に注目できるように赤い枠を使用した。

<使ってみてよかったところ、効果>

- 楽しみながら取り組むことができた。
- 児童にとって興味のある文字であるため、すぐに「せ」と「や」を見つけることができたようになった。

教材教具名	キーを押して、自分の名前の音をしゃべらせてみよう	分類	認知 ★★★
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	・教科書として、「こえでおぼえるあいうえおのほん（ポプラ社）」を持っている生徒が、自分の名前のキーを覚えて押せるようになる。		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・2文字から5文字程度に、限定したひらがな50音を、正しい順に押して、自分の名前の音を出す。

<材料>

- ・画用紙→「こえでおぼえるあいうえおのほん（ポプラ社）」のキーの上に載せる

<工夫点>

- ・切り抜き窓で限定したキー以外を押してしまう生徒には、厚紙を使用し、限定された音声しか鳴らないようにした。

<使ってみてよかったところ、効果>

- ・練習を繰り返すうちに自分の名前のひらがなを、正しい順序で押せるようになった。

教材教具名	1～10の数量	分類	認知 ★★★★★
		授業名	個別課題学習
ねらい	・1～10の数量の学習を行う。		

教材教具の概要



<使用方法>

- ① 棒の本数を見て、数字を答える。
 - ・問題として棒を並べておく。
 - 数字カードを置く→数字カードをひっくり返して答え合わせをする。
- ② 数字を見て、その量の棒を答える。
 - ・問題として数字を置いておく。
 - 数字の量の棒を置く→数字カードをひっくり返して答え合わせをする。

<材料>

- ・カラー棒、色鉛筆の入れ物、ラミネートシート、紙、丸シール、ストロー

<工夫点>

- ・数字カードをひっくり返して答え合わせができるようにした。

教材教具名	2桁の数	分類	認知 ★★★★★
		授業名	個別課題・国語・算数
ねらい	・桁の数を操作を通じて学ぶ。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・各位に棒の束を置いて問題を出す。
- ・各位の棒の数を数えて数カードを貼り付ける。
- ・枠に数カードを10の位から順に重ねて入れていく。
- ・出来上がった数を読む。

<材料>

- ・カラー棒、輪ゴム、ファイル、ラミネート、マグネット、ボール紙、箱

<工夫点>

- ・具体物の操作を通じて桁の数を学習できるようにした。
- ・数字カードを入れる枠を作りそれぞれの位の数字カードを合わせると、2桁の数が作り上げられるようにした。

教材教員名	3桁の数	分類	認知 ★★★★★
		授業名	個別課題学習・国語・算数
ねらい	・3桁の数を操作を通じて学ぶ。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・各位に棒の束を置いて問題を出す。
- ・各位の棒の数を数えて数カードを貼り付ける。
- ・枠に数カードを100の位から順に重ねて入れていく。
- ・出来上がった数を読む。

<材料>

- ・カラー棒、輪ゴム、ファイル、ラミネート、マグネット、ボール紙、箱

<工夫点>

- ・具体物の操作を通じて3桁の数を学習できるようにした。
- ・数字カードを入れる枠を作りそれぞれの位の数字カードを合わせると、3桁の数が作り上げられるようにした。

教材教員名	4桁の数	分類	認知 ★★★★★
		授業名	算数・数学
ねらい	・4桁の数の学習。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・教員が1～1000の位にそれぞれの量の立方体を置いて問題を出す。
- ・位ごとの数量を数えて数字カードを貼る。
- ・1000→100→10→1の位から順に数字カードを枠に重ねて4桁の数をつくり、読み上げる。

<材料>

- ・2cm立方体、ファイル、マグネット、パウチ、ネジ、テープ、ボール紙、箱

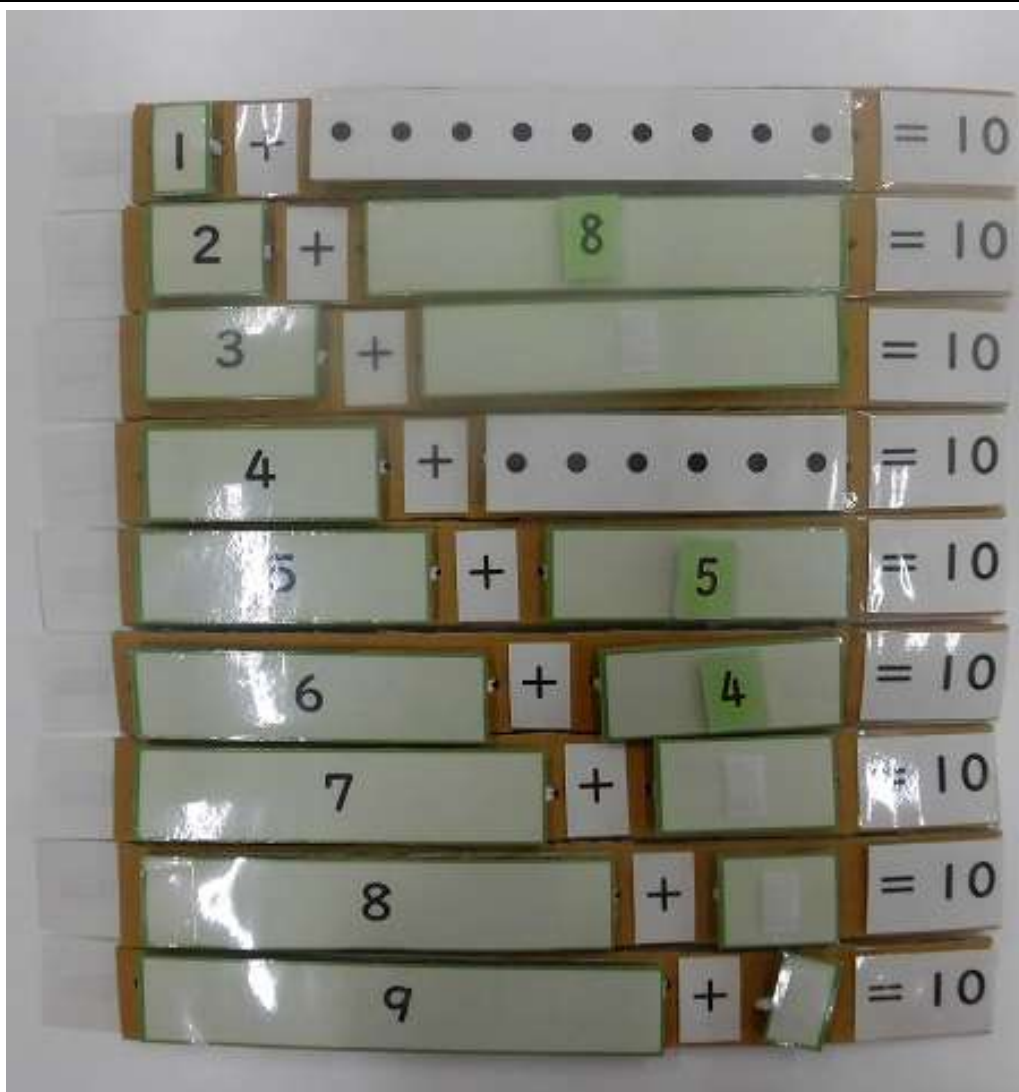


<工夫点>

- ・具体物の操作を通じて4桁の数の学習をできるようにした。
- ・数字カードを入れる枠を作りそれぞれの位の数字カードを合わせると、4桁の数が作り上げられるようにした。

教材教員名	10になる足し算	分類	認知 ★★★★★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	・いくつといくつで10になるかがわかる。		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・数字のチップを貼り、足すと10になる足し算を完成させる。
- ・わからないときは、バーをひっくり返して●を数えて確認する。

<材料>

- ・段ボール、ラミネート、マジックテープ、ゴム

<工夫点>

- ・数字だけを暗記するのではなく、実際に数えて確認できるようにした。

<使ってみてよかったところ、効果>

- ・確認しながら進められることで、自分で課題を進めることがとができた。

教材教員名	時計ガイド	分類	認知 ★★★★★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・時計の読み方を確認する。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・時計の上に重ねて使用する。ガイドの上部の「①なんじ みじかいはり」「②なんふん ながい はり」を見て注目する箇所を確認する。

<材料>

- ・ラミネート、はさみ

<工夫点>

- ・いろいろな時計に対応できるようにした。
- ・ガイドの上部の案内をみて確認できるようにした。

教材教具名	硬貨マッチング	分類	認知 ★★★★★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 硬貨のマッチングができる。 • 硬貨の名称を覚える。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- 硬貨のマッチングをする。
- 硬貨の名称を唱えたり、指示された金種を選んだりする。

<材料>

- ボール紙、硬貨の写真、はりパネル、ガムテープ

<工夫点>

- 何度も繰り返しマッチングができるように、ピンクの持ち手を上に引くと硬貨が隣のスペースに流れ落ちる。
- P48「お金数え台」と色をリンクさせている。

<使ってみてよかったところ、効果があったこと等があれば、書いてください。>

- 日常生活でお金に触れていなくてもマッチングができた。

教材教具名	お金数え台	分類	認知 ★★★★★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • お金を数えることができる。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- お金を金種別に並べて、金額を出すことができる。

<材料>

- 段ボール、はりパネル、硬貨の写真、ラミネート

<工夫点>

- 台を斜めにすることで自然に硬貨が並ぶようにした。

<使ってみてよかったところ、効果>

- お金を並べることを楽しんでいる様子だった。

教材教具名	小銭が混ざらない財布	分類	認知 ★★★★★
		授業名	個別課題学習（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 財布の中で小銭が混ざらないようにして取り出しやすくし、支払いの苦手意識を減らす。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 分別してお金を入れる、金種をわかりやすく入れる。

<材料>

- 固いスポンジ、ポーチ、お金

<工夫点>

- 固いスポンジにお金を差し込めるようにし、金種がわかりやすく、財布の中で混ざりにくくすることで支払いしやすくした。



<使ってみてよかったところ、効果>

- 買い物学習の支払いがスムーズになった。

教材教員名	文作り	分類	認知 ★★★★★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 写真やイラストを見て文を作ることができる。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- 写真やイラストの様子を言葉で表す。
- 写真やイラストの様子を文字チップで表す。
- 文の読み方や正解かどうかをボイスペンで確認する。

<材料>

- 写真やイラスト、クリアファイル、ラミネート、マジックテープ、ボイスペン

<工夫点>

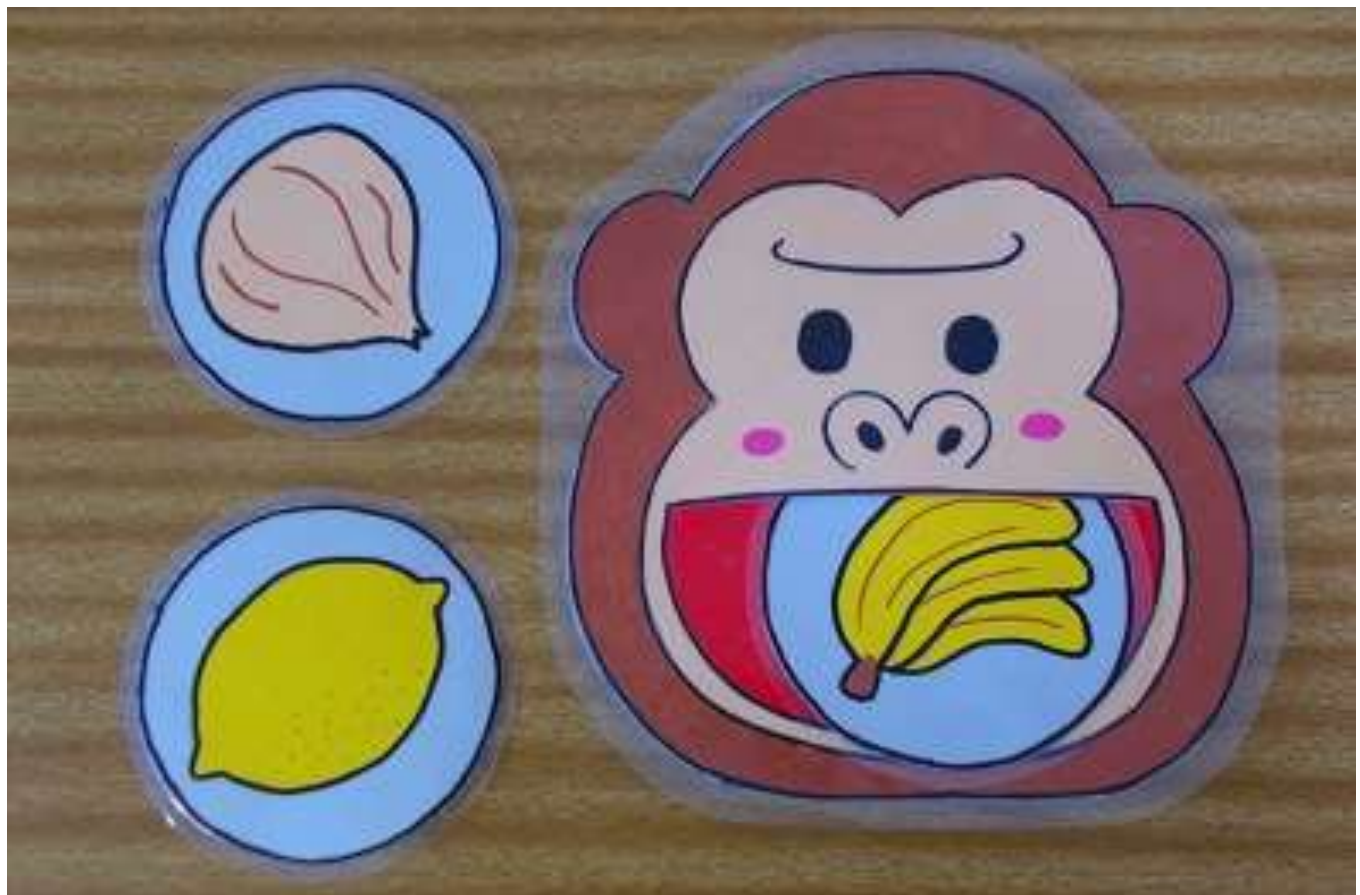
- 自分が経験したことを文で表すようにした。
- 話すのが苦手な児童には、文字チップで表せるようにした。
- 自信がないときはボイスペンで確認できるようにした。

<使ってみてよかったところ、効果>

- ボイスペンを使用することで児童のやる気に繋がった。
- ボイスペンを使用し音声での確認をしたことで「は」などの読み方も覚えることができた。
- 答えの確認ができるため、安心して取り組めた。
- 自信が付き、声に出して文を読めるようになった。

教材教員名	ペープサート (食いしん坊なゴリラ)	分類	コミュニケーション ★
		授業名	朝の会、帰りの会 (小学部)
ねらい	・朝の会や帰りの会を始める前に、教員に注目させる。		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・食いしん坊なゴリラの歌を歌いながら、演じる。

<材料>

- ・画用紙、イラスト、ペン、ラミネート

<工夫点>

- ・食べている動きが出せるように口に切り込みを入れた。

<使ってみてよかったところ、効果>

- ・児童が教員に集中することができたり、着席できる児童が増えた。

教材教員名	手袋シアター (ゆび忍者)	分類	コミュニケーション ★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 朝の会や帰りの会を始める前に、教員に注目させる。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- ゆび忍者の曲を流しながら演じる。

<材料>

- 軍手、フェルト、裁縫道具、グルーガン

<工夫点>

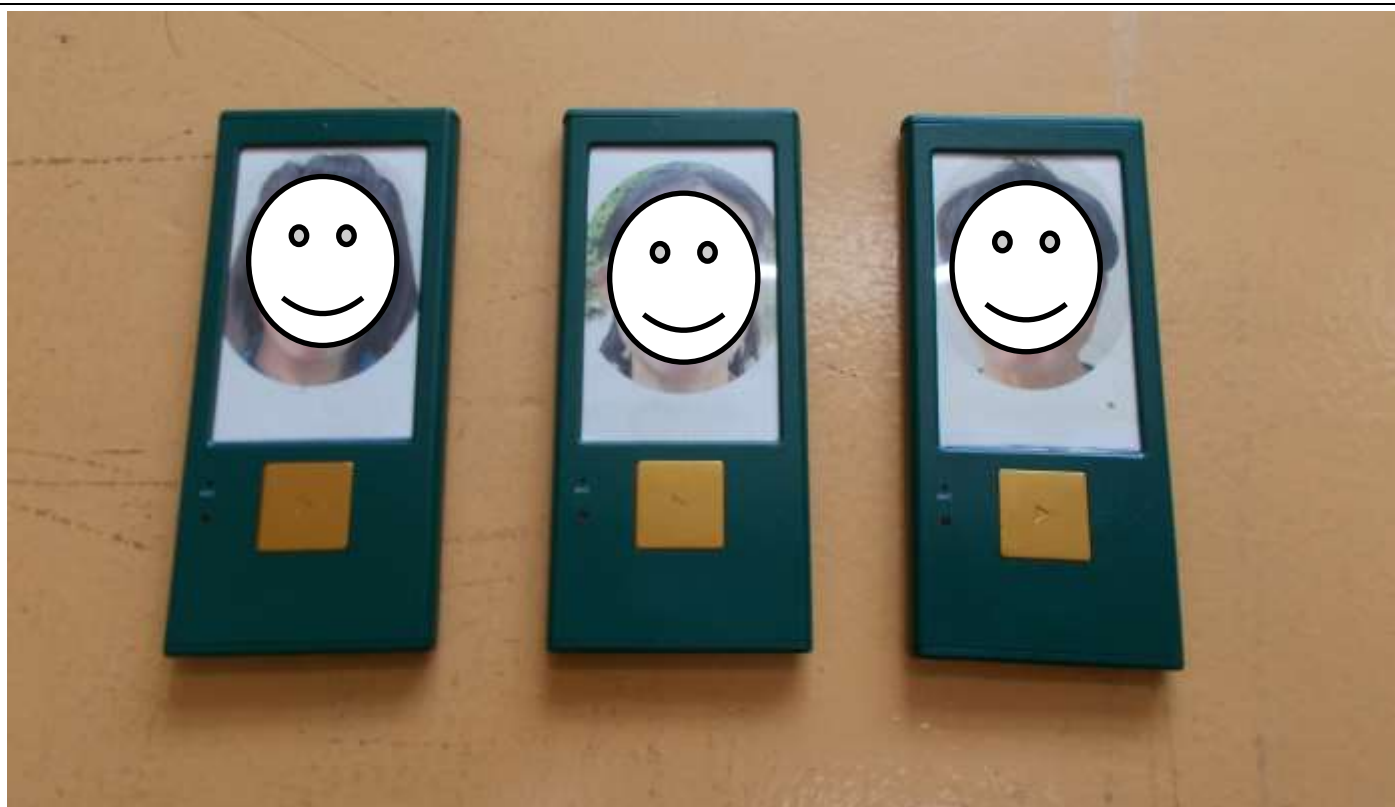
- よく見ると顔が全部違うんです!!!!

<使ってみてよかったところ、効果>

- 児童が教員に集中することができたり、着席できる児童が増えた。

教材教員名	「〇〇先生、」とボタンを押して呼ぶための VOCA	分類	コミュニケーション ★
		授業名	日常生活 (中学部)
ねらい	・不特定の相手ではなく、伝えたい教員を選んで呼べるようになる。		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・クラス担任、3人の中で呼びたい先生の顔写真の貼ってある VOCA を押すことで、その先生を呼ぶ。

<材料>

- ・画用紙、教員の顔写真→ 市販の VOCA 「6 ゴー トーク ワン GoTalk One」 に貼る。

<工夫点>

- ・呼びたい教員ごとに、VOCA を分けることで、呼びたい教員の VOCA を持って音声を出すことができる

<使ってみてよかったところ、効果>

- ・呼びたい先生の音声が出る VOCA を選んで押そうとするようになってきた。

教材教員名	くす玉	分類	授業
		授業名	生活科 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 誕生日会のくす玉割りが簡単にでき、みんなでお祝いができるようにする。 		

教材教具の概要

<使用方法>

- 誕生日会の主役がくす玉を割り、みんなでお祝いでする。

<材料>

- ざる、鈴、ガムテープ、リボン、磁石、タコ糸、持ち手、金の模造紙やラッピングペーパー

<工夫点>

- 留めるところを磁石にしたことで、何度もすぐに繰り返し使用できる。
- 鈴を付けて音が鳴るようにした。
- 持ち手を付けることで握りやすくした。
- 持ち手をプラスチック素材にしたことで消毒をしやすくした。



<使ってみてよかったところ、効果>

- 紐を引っぱったら開く、という仕組みが子どもにとってわかりやすいため、とても盛り上がった。
- 簡単に紐を引くことができるため、だれにでもできた。

教材教具名	バスの乗り方	分類	授業
		授業名	社会 (中学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • バスの乗り方を知る。 • バスに乗る練習をする。 		

教材教具の概要



<使用方法>

• バスの絵をパーテーションに付け、その向こう側にバスと同じような配置で、乗降口・座席等を机や椅子で設置する。生徒がICカードの読み取りに触れたと同時に笛を鳴らす。

<材料>

• 段ボール箱、模造紙、ラミネーター

<工夫点>

• 余計な刺激は極力なくしつつも、リアルに近い形でバス乗降の練習ができるように作成した。

<使ってみてよかったところ、効果>

• 教室で何度も練習を重ねてから、実際のバスに乗ることができたので、生徒たちはとてもスムーズにバス乗降ができていた。

教材教具名	模擬歩行者信号セット	分類	授業
		授業名	社会 (中学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・「自力通学」に向け、歩行者信号を見て、止まったり歩き始めたりできるようになる。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・ 模擬横断歩道シートの前に立たせ、シートの反対側で教員が持つ iPad に映る、信号練習用動画の画面が赤信号から青信号になったら、自分で判断して、シートの上を歩き始める。

<材料>

- ・【横断歩道】ビニールシート、色布ガムテープ (白・銀)
- ・【歩行者信号】 桑びよんの特別支援教育 <https://kuwapyon.net/> から、「歩行者横断用信号練習用動画」

<工夫点>

- ・ 信号の練習を繰り返し行うため作製した。ビニールシートに色布ガムテープを貼ることで、安価に作成できた。

<使ってみてよかったところ、効果>

- ・ 信号が赤から青になったら歩き始めることができた。信号動画の映る iPad を持つ教員の視線などで歩き始める生徒もいたので、生徒を見ない (生徒に合図を与えない) ようにした。週に1回の実際の歩行者信号の練習につなげている。

教材教員名	テーブルホッケー	分類	授業
		授業名	LHR (高等部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 多様な生徒と一緒にレクリエーション・スポーツを楽しむ。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- ラケット(制作)でボール(サウンドボール or ウレタンボール)を転がすように打つ。

ゲーム形式

- ターゲット型：大テーブルの対面に的を置き、ボールを打って狙う。
的に点数などを設定して楽しむ。
- ネット型：卓球台（大テーブル）に1対1、または複数人数で別れてボールを打ち合う。
少人数の場合は、テーブルの両サイドに小さな壁を作り、フェンスを作ってもよい。
(イメージ：エアホッケー)

<材料>

- ラケット：段ボール
- 的：発泡スチロール、プラカップ、人形など
- ボール：サウンドボール（公認級）、あまりはねないボール

<工夫点>

- ラケットの大きさは、長編25～30cm程度。片手、または両手でも扱いやすい長さにした。
- ラケットを前後・左右の動きだけで扱えるよう、ボールをはねにくいものにした。

教材教員名	ばい菌がついた大きな手	分類	授業
		授業名	LHR～手洗い～（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を受けた日だけではなく、手を洗うことを習慣化させることができる。 ・視覚的に手にはばい菌があることをわかり、さらに手を洗うごとに白いシールを貼り、ばい菌が減るのが見てわかる。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・朝、給食前、トイレの後など手を洗うことができた時、ばい菌がついた大きな手にシールを貼っていく。

<材料>

- ・画用紙、大きな手のイラスト、ばい菌イラスト、白いシール

<工夫点>

- ・ただの大きな手に貼るのではなく、ばい菌を張り付けることにより、手にはばい菌がついていることを認識させる。
- ・手洗いをしていく分だけシールを貼ることにより、ばい菌が減り、白いきれいな手になっていくことが視覚的にわかる。

<使ってみてよかったところ、効果>

- ・生徒たちが自ら手を洗い、シールを貼るという流れを作ることができた。
- ・授業だけで終わらず、継続して手洗いをする事ができた。

教材教員名	鉛筆の補助具	分類	その他
		授業名	国語・数学・自立活動
ねらい	・字の震えを減らし、見やすい字を書けるようになる。		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・鉛筆やペン等を目玉クリップに挟んで書く。

<材料>

- ・発泡スチロール、クリアファイル、目玉クリップ、紐

<工夫点>

- ・鉛筆を持つことが難しい生徒が持ちやすいようにした。
- ・書きやすくなるよう発泡スチロールの下にクリアファイルを貼り、滑りやすくした。

<使ってみてよかったところ、効果>

- ・筆圧が濃くなり、字の震えも少なくなった。

教材教具名	傾斜台	分類	その他
		授業名	個別課題、図工、絵本を見る 等
ねらい	手元の教材や絵本等を傾斜台に置くことで見やすくすることができる。		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・傾斜台上に注視しやすいように教材などを置く。教材に応じて、台の傾斜を変えられるように
 支え板で前板の角度を調節して使用する。

<材料>

- ・桐集成材、角材、ステンレス蝶番、固定用クランプ

<工夫点>

- ・前板の角度を調節できることで、教材や絵本を見やすく固定し置けるようにした。

<使ってみてよかったところ、効果>

- ・教材や絵本を机の上に置いていた時より、傾斜台を使用することで手元を注視できるようになった。
 大きめの絵本も固定すると両手を使い、ページをめくってよく見るようになった。